

3D 対応機器の国内出荷実績について

一般社団法人 電子情報技術産業協会

2011年第1四半期(1~3月)の3D薄型テレビ国内出荷は195千台で、薄型テレビ全体における構成比は3.7%となった。37型以上に限定すれば、構成比は約15%となる。

3D対応BDレコーダ/プレーヤは551千台で、BDレコーダ/プレーヤ全体における構成比は45.0%となった。

3Dパソコンは16千台で、パソコン全体における構成比は0.6%となった。

3D 対応機器国内出荷実績

	2010年 ~9月	2010年 10~12月	2011年 1~3月	計
3D 薄型テレビ	131千台	401千台	195千台	728千台
薄型テレビ全体における構成比	1.3%	3.8%	3.7%	2.8%
3D 対応 BD レコーダ/プレーヤ		902千台	551千台	1,453千台
BDレコーダ/プレーヤ全体における構成比		20.8%	45.0%	26.1%
3D パソコン	18千台	22千台	16千台	56千台
パソコン全体における構成比	0.5%	0.8%	0.6%	0.6%

※「3D薄型テレビ」は2010年4月、「3D対応BDレコーダ/プレーヤ」は同4月、「3Dパソコン」は同6月の出荷分より集計を開始。四捨五入のため、内訳の和と合計が一致しない場合がある。

※パソコン全体の数値には企業向け出荷分を含む。

品目定義他

■**3D 薄型テレビ** 3D映像^{註1}を表示するための機能が薄型テレビ本体^{註2}に内蔵されているもの。
【統計参加会社数 7社】

■**3D 対応 BD レコーダ/プレーヤ** ブルーレイ 3D^{註3}を再生する機能を内蔵したBDレコーダ/プレーヤ^{註4}。
【統計参加会社数 9社】

■**3D パソコン** 3D映像^{註1}を表示するための機能がパーソナルコンピュータ本体^{註5}に内蔵されているもの。
【統計参加会社数 6社】

註1 「3D映像」とは、両眼の視差(右目と左目は離れているため右目と左目では見えている映像が異なること)原理を利用して、平面である映像や画像をディスプレイ面より前に飛び出すように見えたり、奥行きを感じたりするようにした動画および静止画のことをいう。

註2 別売の3Dメガネやトランスミッターを追加することで3D映像の表示が出来るものも含む。

註3 「ブルーレイ 3DTM」とは、Blu-ray Disc Association(BDA)が策定した、3D映像をブルーレイディスク(BD)に収録するための規格で、ブルーレイにおける3D映像コンテンツの総称。

註4 ブルーレイ 3DTMを再生する機能を有するか否かは出荷時を基点とし、出荷後にダウンロード等で機能アップした機器の台数は出荷統計には含めない。

註5 3D映像を表示するためのディスプレイをもたないが別売のディスプレイを追加することで3D映像の表示が出来るものも含む。